

## 【池田晶子の公式略譜】

池田晶子（いけだ あきこ）



文筆家。

1960年(昭和35年)8月21日午後9時5分、  
東京の一隅に生を得る。

1983年(昭和58年)3月、慶應義塾大学文学部  
哲学科倫理学専攻を卒業。

文筆家と自称する。池田某とも。

専門用語による「哲学」から哲学を解放する一方で、驚き、そして知りたいと欲してただひたすら考える、その無私の精神の軌跡をできるだけ正確に表わすこと——すなわち、考えるとはどういうことであるかを、そこに現われてくる果てしない自由の味わいとともにより日常の言葉で美しく語る「哲学エッセイ」を確立し、多くの読者を得る。とくに若い人々に、本質を考えることの面白さと形而上の切実さを、存在の謎としての生死の大切を、語り続ける。

新宿御苑と神宮外苑の四季風景を執筆の伴とし、富士山麓の季節の巡りのなかに憩いを得て遊ぶ。

山を好み、先哲とコリー犬、そして美酒佳肴を生涯の友とする。

2007年(平成19年)2月23日午後9時30分、

大風の止まない東京に、癌により没す(46年6ヶ月)。

著作多数。さいごまで原稿用紙とボールペンを手放すことなし。

いながらにして宇宙旅行。出発にあたり、自らたって銘を記す。

「さて死んだのは誰なのか」

その業績と意思を記念し、精神のリレーに捧ぐ「わたくし、つまり Nobody 賞」が創設された。

注記：絵本作家の池田あきこ氏、アニメーターの池田晶子(しょうこ)氏、

女優・モデルの池田晶子(昌子、しょうこ)氏の各氏は、文筆家・池田晶子とは別人です。